



県議会議員

のだ哲生

NoDa Report (県政報告)

野田哲生
議会活動レポート第10号
2022年4月1日発行

vol.10

役に立つ。福井県政のお知らせ。

令和4年度 県予算が可決

ごあいさつ

2月14日に開会した2月定例会は、コロナ対策や経済対策予算としての2月補正予算(694億円)と一体的に編成され、**過去最大**の新年度当初予算(5,806億円)に対し審議した議会でした。理事者側は北陸新幹線開業に向けたまちづくりや観光誘客、子育て日本一を目指すふく育県としての子育て支援を、昨年より倍増の40億円にするなど、これまで議会から要求していた内容も盛り込み一定の評価ができる新年度予算となりました。

また、私の所属会派「民主・みらい」代表質問では、オミクロン株拡大の第6波に対し、保健所の逼迫した状況や検査体制、飲食店への支援強化など県の緊急的なコロナ対策について指摘・提言しました。各議員から相次いだ飲食店への支援策に対し、議会最終日に緊急の追加補正予算(事業者支援約23億円)が提案され可決されました。

私は一般質問に立ち、喫緊の課題として特に嶺北地域の**地域公共交通の将来像**、孤独・孤立対策や認知症対策に関する**高齢者福祉**の今後の対応について、指摘・提言し、新年度に向け新たな取り組みを確認しました。

ロシアによるウクライナ侵略については、ロシアを強く非難する決議を県議会全会一致で可決しました。何の価値も産まない戦争は即時に攻撃を停止し、部隊を撤収することを強く求めます。さらに原発を占拠するような暴挙を見ると、原発15基(廃炉含む)が立地する福井県の立地地域の県民は大きな不安を抱え、改めて原発立地地域への安全性と安心感への更なる施策の必要性を確信しました。

子育て支援を倍増！40億

日本一幸ふくな子育て県 20億

A 子どものあそび場を整備

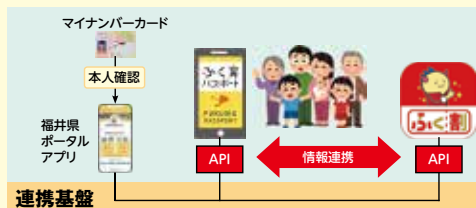
300,000千円

子ども達が安心して遊ぶことができる全天候型の遊び場を整備
※市町に対し上限1億円を助成



B 「ふく育」応援 416,326千円

子育て世帯限定の「ふく割」クーポン発行
「ふく育」と「ふく割」の情報連携



C 子だくさんふくいプロジェクト 516,764千円

- ・0～2歳児の第2子に対する保育料無償化の範囲を年収640万円未満世帯まで拡充
- ・第2子(多胎児については第1子から)に対する病児・病後児保育、すみずみ子育てサポート、一時預かりなどの利用料の無償化を、所得制限なしで完全実施

(保育料の無償化 概要)

世帯年収		～260万円	～360万円	～640万円	640万円～
0～2歳	第1子	保育料無料 (国の制度)			
	第2子		保育料無料	(R4.9予定) 保育料無料	
	第3子以降		保育料無料		
3～5歳					

→ 次頁へ



種池地区の左義長で火入れをさせていただきます

是非、登録・ご活用ください。

のだ哲生
オフィシャル HP



公式 LINE
(お知らせ用)



FB
(日頃の活動)



のだ哲生事務所

〒918-8031 福井市種池町3-36
E-mail: tkannoda@gmail.com
URL: https://noda-tetsuo.com

1駅1億円支援

ハピライン(県民鉄道) 鉄道の駅まち魅力づくり

- ・交通利便性の向上、駅を中心としたまちづくりなど、並行在来線の利用者増加に取り組む市町を支援



現在のJR花堂駅の待合室



高岡やぶなみ駅(あいの風とやま鉄道) 富山の新しい駅舎

一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館 (R4.10月)

- ・令和4年10月の開館に向けて、日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」の魅力を県内外に発信

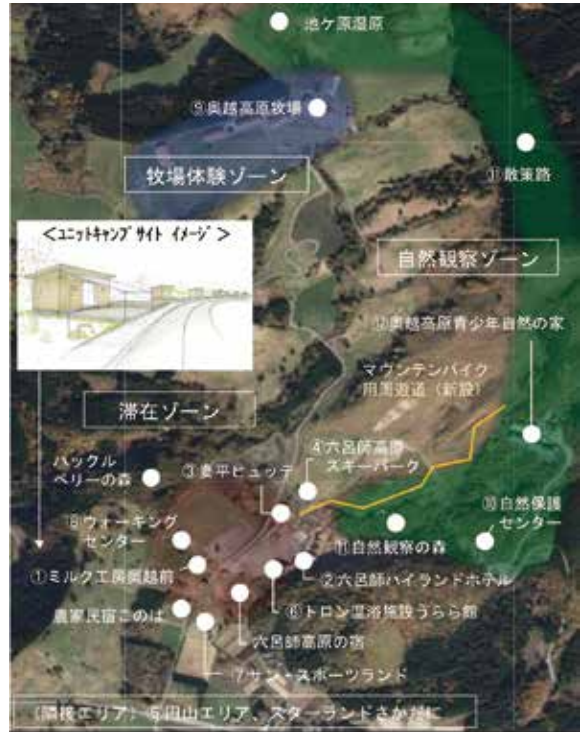


10月に開館する一乗谷ミュージアム(イメージ)

50,999千円

六呂師高原の再活性化

- ・六呂師高原に新たに参入する民間事業者を誘致
- ・アジア初の「星空保護区」の認定に向け、県有施設の屋外照明を星空に配慮した照明に改修



～ 県内初 フルマラソン ～

ふくい桜マラソンに向け

- ・全県的なランニングブームを創出するため、年間を通したラン・ウォークイベントやDXを活用した取り組み、1年前イベントなどを開催



「OTAMESHI」(お試し) 就農 10,669千円

- ・県内外から水稲分野への就業希望者を誘致し、農業法人などでのインターンシップ型研修を通してマッチングさせることにより農業人材を確保・育成



子育てママトラクターを運転

福井県立大学に 恐竜学部(仮称) を開設 (令和7年4月～) 44,291千円

- ・県内全域に及ぶ学びの環境を生かし、恐竜学や地質、古気候学などを学ぶ恐竜学部(仮称)の開設に向け、基本設計などに着手(恐竜博物館隣接地)

防災・減災国土強靱化対策 2,958,048千円

- ・道路の防災対策・補修、河川の改修 など
- ・漁港の改修、ため池改修 など

2つの有料道路が R4.10月～

ついに無料化へ!

A 法恩寺山有料道路

→ スキージャンプへは通行料無料に!

B 三方五湖有料道路

→ レインボーラインへも通行料無料に!

※法令により有料道路の徴収期間30年の満了により、道路公社を解散することに。

なお法恩寺山道路は勝山市、三方五湖道路は県道として、今後維持管理を行っていきます。

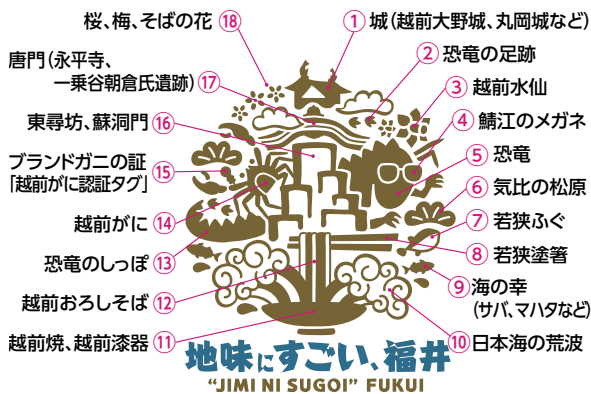


令和4年度予算の
主要事業はこちらから⇒



質問項目

- ① 県民主役の開業PRへ向けて ② 地域公共交通の将来像 ● 福井鉄道再建スキーム ● MaaS戦略
③ 高齢者福祉について ● 孤独・孤立対策 ● 認知症対策



1 このPRロゴで 新幹線開業を 県民主役で 盛り上げよう!



県議会でPR名刺の
サンプルを配布しました。

問い 第6波収束と共に、一気に新幹線開業を盛り上げていく県民主役のPRにPR名刺を県民、理事者、議員一体でやるべき。

答(知事) まず県職員が名刺に刷り込むなど「地味にすごい、福井」のキャッチコピーとロゴマークを、ポスターやのぼり、法被などいろいろなところで展開し、どんどん認知され話題になっていくことを目指したい。

2

地域公共交通の将来像

福井鉄道再建スキーム

問い 福井鉄道福武線は、県の重要な交通インフラとして、設備更新や危険箇所の安全対策を県の支援として継続していくべき。

答(部長) えちぜん鉄道支援スキームと同じ考え方で、県は輸送の安全・安心の面を支えるため設備更新に対する投資をしていく。沿線3市は維持修繕といった日頃の運営を支えるという役割分担で支援していく。

MaaS戦略

問い これまで県が取り組んでいる新モビリティサービス推進事業の成果と課題、公共交通のMaaS「レベル2」に向けた今後の展望は。

答(部長) 時刻表や運賃情報のオープンデータ化により全市町のコミバスを含め(Googleマップなどで)検索可能となった。また福井市、越前町、おおい町ではデマンド交通としてAI配車システムを導入している。

予約・決済が一括で可能となる公共交通の「MaaSレベル2」の実現に向けてJR西日本の観光型MaaSの中で検討していく。県内の公共交通機関が連携した周遊パスなどの商品化の中でその実現を図っていく。



高齢者福祉

早期発見・早期対応を!

問い 認知症の早期発見・早期対応に向け、市町の「認知症初期集中支援チーム」の活動強化や、チームオレンジの結成に向けどのような取組を進めるのか。

答(部長) 「認知症初期集中支援チーム」は現在全ての市町に設置されている。昨年度も137件のアウトリーチ(訪問支援)事案があった。また県では認知症サポート医という司令塔に当たる医者を養成しており活動強化に努めている。

認知症の方と家族、認知症サポーターが交流する拠点となる「チームオレンジ」を令和7年度までに全市町の設置を目指す。現在チーム運営のノウハウについての研修を通じて102人のチームリーダーを養成している。(来年度は3市町で設置)

問い コロナ禍が長期間になっている実情を踏まえ、高齢者を孤独にしないための交流支援への今後の取組は。

答(部長) 「次世代型の地域包括ケアシステム」の実現に向け、今年度から地域住民による高齢者の買い物やよろづや(通いの場)への外出支援の仕組みづくりへ支援をはじめており、2年後には全県展開しモデルづくり支援を拡大する。県内10地区にて高齢者と現役世代も含めた多世代による新たな交流活動への助成も行っている。今後、コロナ禍でもフレイル予防を通じた高齢者の交流機会の確保に努めていく。

3

コロナ禍で 高齢者を孤独にしない 交流支援を!

聞くのだ やるのだ つくるのだ

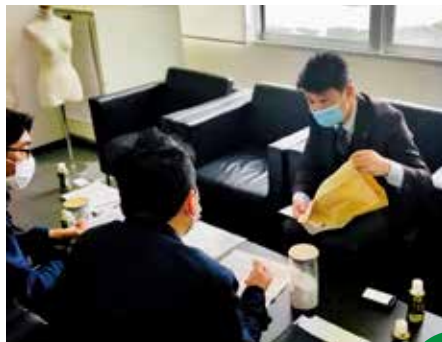
もっとイイ!! 福井県を!!

視察

Inspection



新幹線開業2年前に向け、首都圏からの誘客施策に関するヒアリングをしました。
(福井市 東京事務所)



バイオマスプラスチック(土壌分解されるプラスチック)についてヒアリング
(坂井市ネクアス様)



あわら農楽ファーム様の観光いちご園
農福連携(農業と福祉)に取り組んでいます。



東京交通会館8Fのふるさと回帰支援センターには全国の移住・定住の相談窓口が集まっています。
(福井暮らし働くサポートセンター)



卵殻を51%配合したフィルムプランターでSDGsへの取り組み。



眼鏡の鯖江にできたルクスオティカ様を視察。

地域

Area



日野川大花火のクラウドファンディングの実施について、福井市地域の夢を叶える未来づくり事業にて意見交換しました。



地域の成人に青年会主催の「はたちの集い」でお祝いと激励をしました。



社南公民館の新築について、福井市教育委員会に要望しました。

各地域にて早朝の県政報告をスタートしました。

